

1級認定者



経営学部 1名
経済学部 2名

2021年度認定者数
14名

2級認定者

文学部 2名
経済学部 1名
マネジメント創造学部2名



3級認定者



文学部 3名
法学部 1名
マネジメント創造学部2名

1級を取得した先輩からのメッセージ



奨励留学 イギリス リーズ大学
エリアスタディーズ韓国コース
グローバルサーティフィケート1級取得



経営学部4年 辻 麻里奈さん(2021年度卒業)

私は高校生の時に短期留学を経験し、さらに語学力を伸ばし新しい環境に身を起きたいと考えて大学生での留学を目標に掲げていました。

留学を通して語学力の向上だけではなく、様々な部分で成長できたと感じています。その中でも「失敗を恐れずに挑戦する姿勢」と「主体性」は今の私を形成する大切な一部になっています。留学当初は自分の英語力の低さを痛感し挫折しました。しかし上手いかないのではないかと不安に打ち勝って、自分にできることに取り組んだ結果、とても充実した日々を海外で過ごすことができました。

帰国後は大学のグローバルゾーンでアシスタントをするなど英語に携わる活動を続けていました。就職活動の際にも、海外と関わりがある仕事をしたいという思いから物流業界を志望し、外資系企業に就職することが決まりました。

私は何事も行動に移して楽しんだものがちだと留学を通して実感しました。挑戦することには不安や恐怖が付き物ですが、その先には何事にも変え難いものを得られるはずです。



奨励留学 アメリカ イリノイ大学
海外語学講座 オーストラリア クイーンズランド大学
グローバルサーティフィケート1級取得



経済学部4年 中林 涼輔 さん(2021年度卒業)

留学どころか、英語力もままならない入学当初でしたが、学内留学を活用し大学生活が激変しました。語学力のみならず、異文化交流を行う中で、あらゆる価値観をもつ人と出会い、自分の考え方は大きく変化し、人としても成長できたと感じます。そういった経験を踏まえて海外留学をするか、そうでないかでは、留学先での生活に大きな差が生じると思います。

4年間を通して、思ったより留学をしたい、言語を学びたいと思っている学生が多いなど感じました。でもしたいと思っているだけで、アクションを起こしていない学生が多いとも感じました。きっかけはなんでもいいんです。とにかく一歩踏み出す勇気を持ってほしい。甲南大学でたくさんチャレンジしてみてください。



奨励留学 イギリス リーズ大学
ジャパンスタディーズ受講
グローバルサーティフィケート1級取得



経営学部4年 浪江 由梨香 さん(2021年度卒業)

私が4年間の国際交流を通して学んだことは「何事も自分次第」ということです。

これを強く感じたのは、2年次のイギリスへの語学留学でした。クラスメイトの8割が日本人で、想像していた環境とは違っていました。積極的にサークルに参加したり、国際交流センターのイベントに参加したりすることで、英語を話す機会を作り、語学力を伸ばせました。留学を通して、自分の行動次第で得られる環境も結果も変わってくることを実感しました。これは帰国後に始めたロフトアシスタント勤務にも活かされています。

留学に行くことは、とても勇気のいることですが、だからこそ得られることが多くあります。成長の機会の1つとして留学も視野に入れてみてください。